

# 仏教の言葉

わげんあいご  
和顔愛語

「和顔愛語」という言葉を知っていますか？これは私たちが幸せな人生を送るために、仏様が残された言葉なのです。

「和顔」は「わげん」と読みます。意味は優しいお顔。さらには微笑みのあるお顔のことです。

「愛語」は「あいご」と読みます。意味は優しい言葉です。さらには優しい言葉遣いや相手を傷つけない言葉遣いです。

私たちはできれば幸せになりたいと思っています。周りの人たちと仲良く、心穏やかに、できれば裕福に願っています。お金や物

で裕福になるには色々その人にあつた方法を選ぶ必要があります。でも仲良くとか心満たされるようになるには共通の方法があります。それが「和顔愛語」です。

仏様は、「あなたが幸せになるにはまず目の前の人を幸せにしなさい。」といいました。

たとえば目の前の人、眉間にしわを寄せてピリピリしていたとします。こちらにも緊張感が伝わってきて心穏やかではありませんね。でも反対にニコニコしている人が目の前にいたらどうでしょう。こちらも穏やかな気持ちになるはずですよ。

このように、まずは目の前にいる人をニコ



ニコさせ、心暖かくする。そうすれば自然と自分もリラックスできて、相手ともいい関係を築いていけるとでしょう。

言葉でも同じです。私たちは言葉をとくさん知っていますので、相手

が喜ぶ言葉を選ぶことは難しくはないはずですよ。あとは素直に言える心です。これは頑張つて一歩踏み出しましょう。

自分の幸せや快樂だけを追い求めると、周りのいろいろな人を傷ついたり嫌な思いをさせたりしてしまいます。「自分が言っていることが正しい！」「どうせ匿名だから人を傷つける言葉を書いてスッキリしよう！」と、近頃新聞やテレビで報じられる事件や事故がその



表れでしょう。

幸せへの近道は、笑顔と相手を思いやる言葉。そのことを仏様は二五〇〇年前から変わらず教えてくれています。今こそ「和顔愛語」を実践し、心穏やかに幸せになりましょう。合掌

## 秋の雅楽演奏会 復活します！

コロナの謹慎が長く続いた影響で、気分がふさぐことが多くなったように感じます。法蔵寺では、秋のひと時を楽しんでもらいたいと思い、秋の雅楽演奏会を久ぶりに再開いたします。屋台も出店予定です。ぜひお越しください。

### 秋の雅楽演奏会

十月十五日（日）

十一時〜